

株主通信

第123期 決算

2014年4月1日から2015年3月31日まで

証券コード：6448

At

your

side.



Brother
Earth
よりよい地球環境を、あなたとともに。
www.brotherearth.com

株主の皆さまへ

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。第123期(2014年4月1日から2015年3月31日まで)の株主通信をお届けするにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

2014年度は、新興国経済が、緩やかながらも減速傾向が持続し、欧州では景気の足踏み状態が続いたものの、米国では景気の回復傾向が見られました。

このような状況の中、ブラザーグループの売上高、営業利益、経常利益、当期純利益は、いずれも過去最高となりました。売上高の増加要因としては、通信・プリンティング機器が堅調に推移したこと、家庭用ミシン、産業機器の出荷が好調だったことなどが挙げられます。また、営業利益、経常利益においても売上増や為替のプラス影響などにより大幅な増益となりました。当期純利益は、経常利益が増加したことに加え、特別利益の計上や法人税等の減少もあり、前年度の約3倍となりました。

2015年度につきましては、各事業・各地域において販売拡大に向けて様々な施策を積極的に行い、増収、増益を見込むことで、中期戦略CS B2015の目標である売上高7,500億円、営業利益580億円の達成が見えてまいりました。株主の皆さまにおかれましては、今後ともご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長

小池利和



At your side.

いつもお客様第一に考え、優れた価値を創造し、迅速にお届けしたい。

“At your side.”という言葉には、そんなブラザーグループの思いが込められています。

この“At your side.”の精神のもと、ブラザーグループは、

地球環境に配慮した取り組みを行うとともに、世界中のお客様が実現したい

新しいライフスタイルやワークスタイルを、製品やサービスを通じて応援していきます。



よりよい地球環境を、あなたとともに。
www.brotherearth.com

目次

01 株主の皆さまへ

02 目次

03 特集

中期戦略「CS B2015」の最終年度に入りました

07 連結決算の概況

2014年度の業績概況

2015年度の業績見通し

配当金について

09 主要事業セグメントの営業概況

プリンティング・アンド・ソリューションズ事業

パーソナル・アンド・ホーム事業

マシナリー・アンド・ソリューション事業

ネットワーク・アンド・コンテンツ事業

工業用部品事業

13 トピックス

東日本大震災 継続的な復興支援活動

東山動植物園に学習施設「KOALA FOREST コアラの森」を寄贈
環境活動に対する外部評価の高まり

16 連結経営指標

17 連結財務諸表 1

貸借対照表(要旨)

19 連結財務諸表 2

損益計算書(要旨)

キャッシュ・フロー計算書(要旨)

株式資本等変動計算書(要旨)

21 株式の状況

22 会社の概要

※この株主通信に記載の業績見通しは、作成時点で入手可能な情報に基づく当社判断による見通しであり、さまざまなリスクや不確実な要素を含んでいます。

実際の業績は、これらの見通しとは異なる結果がありうることをご承知おきください。

※この株主通信に記載の表示金額は、億円未満を四捨五入、百万円未満を切り捨てて表示しています。また、各種比率は小数点第2位を四捨五入して表示しています。

特集

▶ 中期戦略「CS B2015」の最終年度に入りました

ブラザーグループは中長期ビジョン「グローバルビジョン21」を策定し、目指すべき3つの項目を掲げています。

グローバル
ビジョン21

- ① 「グローバルマインドで優れた価値を提供する高収益体質の企業」になる
- ② 独自の技術開発に注力し「傑出した固有技術によってたつモノ創り企業」を実現する
- ③ 「“At your side.”な企業文化」を定着させる

グローバルビジョン21実現に向けたロードマップとして、2011年4月からスタートした中期戦略「CS B2015」では、“Back to Growth ～成長への再挑戦～”をテーマに、成長戦略に挑戦してきました。中期戦略の策定後、さまざまな事業環境の変化はあるものの、成長戦略を描き、グローバルで最適な生産体制の構築や販売網の拡大により順調に売上を伸ばしてきました。2015年度は、引き続き、設備投資や研究開発投資、M&Aをはじめ、各事業・各地域において販売拡大に向けた多様な取り組みを積極的に実行することにより、新規事業を含むすべての事業において拡大し、「CS B2015」の目標達成を目指します。

「CS B2015」目標

売上高 **7,500**億円

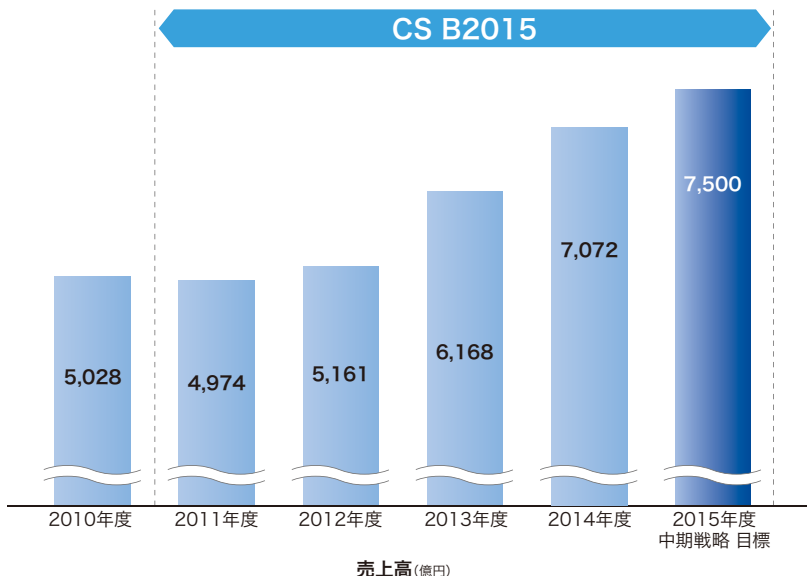
営業利益 **580**億円

営業利益率 **7.7**%

※「CS B2015」目標の為替前提：
1米ドル=100円、1ユーロ=100円、1人民元=20円

全事業、全地域での成長

- 新規事業・新規商品の育成・拡大
- 新興国での拡大
- グローバル戦略の推進
- M&A、アライアンスの推進



「CS B2015」達成に向けた各事業の取り組み

■プリンティング・アンド・ソリューションズ(P&S)事業

プリンター、複合機、電子文具など

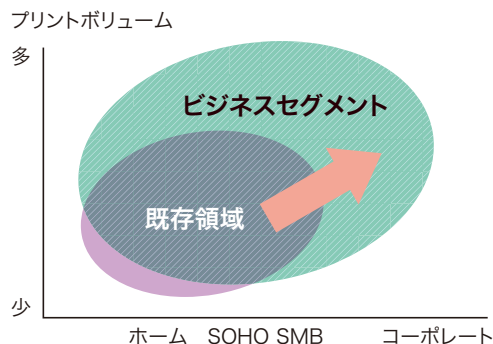
通信・プリンティング機器に関して、得意分野である量販店やインターネットを經由したSOHO*1市場のビジネスにおいては、商品開発と販売の一層の強化を図ります。SMB*2市場においても、販売力を強化し、堅牢性、信頼性を向上させた高機能製品を開発していきます。新興国では、モノクロレーザー製品、大容量インクタンクを装備したインクジェット製品の拡販のため、地域の特性に合わせた販売網の拡大や販売促進の強化に積極的に取り組みます。日本市場では、積極的な広告戦略、年賀状アプリによる訴求など家庭向けインクジェット製品のシェア拡大に向けた施策を進めます。

*1 SOHO : Small Office, Home Officeの略。自宅などをオフィスとして個人や少人数のグループで起業するワークスタイル。

*2 SMB : Small and Medium Businessの略。
小規模な事業所や中小企業、複数拠点に分散する企業のオフィスなど。

電子文具に関しては、オフィス、ホーム市場の安定成長を維持しつつ、業務用ラベリング・マーキングにおいて新たな顧客価値を創造し、新市場を開拓するとともに、新興国など開拓の余地の大きい市場への取り組みを強化していきます。

スキャナーに関しては、新製品による基本性能の向上と商品ラインアップの充実、ソリューション対応力の強化を図り、新たな顧客獲得を目指します。



カラーレーザー複合機
MFC-L8850CDW



モノクロレーザー複合機
MFC-1910W



インクジェットプリンター
P-touch DCP-J4220N



モバイルプリンター
RJ-3150



ラベルプリンター
P-touch
PT-P750W



スキャナー
PDS-5000

■ パーソナル・アンド・ホーム (P&H) 事業

家庭用ミシンなど

家庭用ミシンに関しては、中高級機において、縫製性能に優れた実用ミシンのシェア拡大および付加価値の高い刺しゅうミシンの顧客満足度向上により収益の拡大を目指します。

職業用刺しゅうミシンに関しては、スモールビジネス*市場の開拓を進めていきます。

クラフト市場においては、競争力の高い製品群を投入することにより、さらなる成長を目指します。

* スモールビジネス: スポーツショップでのネーム入れなど、多品種少量、オンデマンドニーズをターゲットとした刺しゅうビジネス



刺しゅうミシン
イノヴィスVF1



家庭用ミシン
コンパル1500Q



職業用刺しゅうミシン
PR1000e



カッティングマシン
ScanNCut (スキャンカット)
CM110

■ マシナリー・アンド・ソリューション (M&S) 事業

工業用ミシン、産業機器

工業用ミシンに関しては、新製品開発や商品力・販売力の強化により、アジアでの市場拡大を目指します。また、ガーメントプリンターなど、非ミシン分野の強化にも注力していきます。成長著しいアジア市場においては、販売拠点がある香港を中心に重点的に経営資源を投入します。

産業機器に関しては、需要が拡大するIT関連市場に加え、自動車・一般機械市場に対して強化を進めます。具体的には、戦略製品の開発・投入や、中国・東南/南アジアでのテクニカルセンターの増強、定期的なお客様サポートの実施、技術サポート力の強化などによる新興国での販売拡大を図ります。



電子送り本縫ダイレクトドライブ
自動糸切りミシン
NEXIO S-7300A



ガーメントプリンター
GT-3



コンパクトマシニングセンタ
SPEEDIO S1000X1



コンパクトマシニングセンタ
SPEEDIO M140X1

■ ネットワーク・アンド・コンテンツ(N&C)事業

通信カラオケ、コンテンツサービスなど

業務用通信カラオケの新製品の販売拡大や、新規出店・大規模改装によるカラオケ直営店舗の充実を進め、収益を確保します。また、新たに子会社化した音楽・映像ソフトの企画・制作・販売などを手掛ける株式会社テイチクエンタテインメントとのシナジー効果を生むビジネスモデルの構築に取り組みます。



カラオケ直営店舗

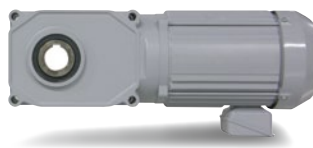


高級オルゴール
プリモトーン

■ 工業用部品事業

減速機、歯車

工場環境を整備するなどモノ創りの体制を強化し、国内市場での安定した収益の確保と海外市場の開拓強化を進めていきます。また、高効率ギアモーターの国内販売を拡大するとともに、ロボット用歯車に注力することにより、歯車事業の収益力向上を目指します。



高効率ギアモーター
IE3



歯車
スパイラルベベルギア

新規事業

ヘッドマウントディスプレイ、オリジナルデザインテープ作成機など

ヘッドマウントディスプレイに関しては、業務用途での活用事例の蓄積を進め、業務用分野におけるトップランナーとしての地位を確固たるものにしていきます。オリジナルデザインテープ作成機に関しては、オリジナルテープの小ロット作成に需要のある個人経営の店舗などに向けて営業活動を強化します。



ヘッドマウントディスプレイ
エアスカウター



オリジナルデザインテープ作成機
テープクリエーター
TP-M5000N

連結決算の概況

2014年度の業績概況

2014年度のブラザーグループの売上高は、消費増税の反動減があった日本を除く各地域において、通信・プリンティング事業が堅調に推移したこと、産業機器の中国IT関連顧客向けの出荷が好調であったことなどにより、前年度比14.7%増の7,072億3千7百万円となりました。営業利益は、上記要因に加え、円安による為替のプラス影響もあり、前年度比32.9%増の575億4千1百万円となりました。経

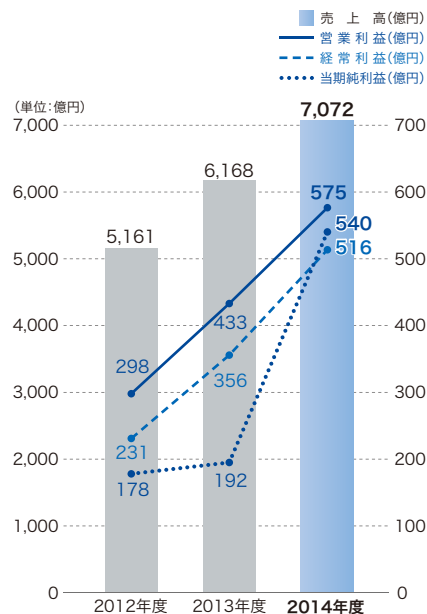
常利益は、営業利益の増加及び為替予約に係る決済差損の減少などにより、前年度比44.8%増の515億5千7百万円となりました。

(単位:億円)

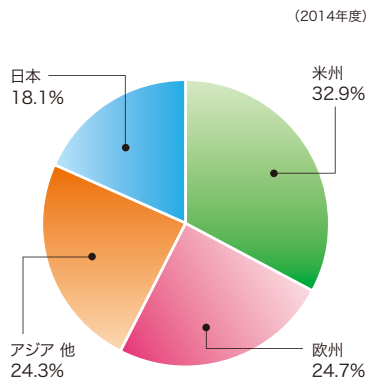
| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 |
|----------------|-------|------|------|-------|
| 2014年度 連結業績 | 7,072 | 575 | 516 | 540 |

※2014年度連結業績における平均為替レートは次の通りです。
1米ドル=110.03円、1ユーロ=138.68円

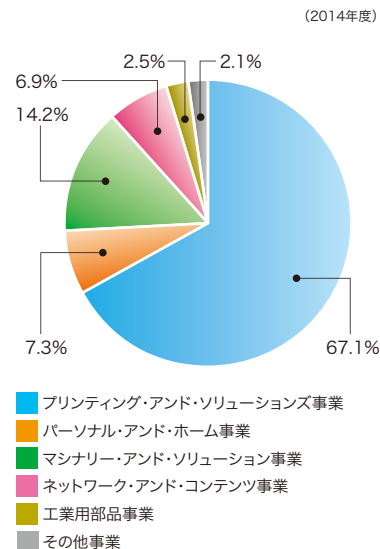
業績の推移



市場別売上高の構成比



事業セグメント別売上高の構成比



2015年度の業績見通し

2015年度につきましては、中国などの新興国においては、景気減速の懸念があるものの、日本をはじめとする先進国の経済は、緩やかながらも景気の回復が持続する期待が高まっています。このような経済環境の中、プリンティング・アンド・ソリューションズ事業や産業機器を中心に当社製品に対する需要が引き続き堅調であることを見込むほか、各事業・各地域において、販売拡大に向けたさまざまな取り組みを積極的に実行することにより、売上高は、対前年度で増収となる見通しです。

営業利益は、為替のマイナス影響、成長のための販売投資や研究開発投資の増加などはあるものの、増益となる見通しです。経常利益は、営業利益の増加に加え、為替予約に係る損益の改善効果により増益を見込んでおります。親会社株主に帰属する当期純利益は、特別利益の計上など、昨年度の一過性の要因がなくなるため減益となります。

(単位:億円)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に帰属する当期純利益 |
|-------------------|-------|------|------|-----------------|
| 2015年度 連結業績見通し | 7,600 | 580 | 560 | 355 |

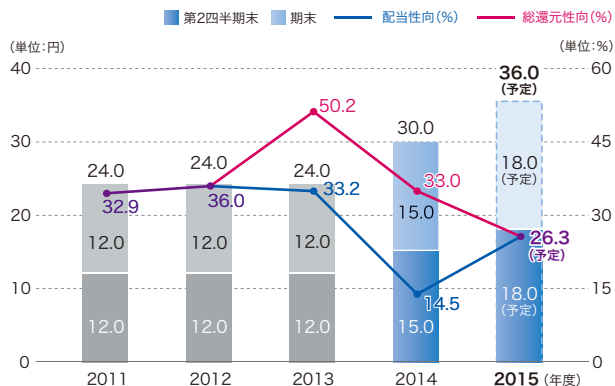
※2015年度通期業績見通しは次の為替レートを前提としております。
1米ドル=115円、1ユーロ=125円

配当金について

2014年度の配当金につきましては、予定どおり期末配当を1株あたり15円とし、実施済の第2四半期末配当とあわせ、前年度から6円増配となる、年間30円とさせていただきます。連結配当性向は、固定資産売却や税効果といった一過性の要因で当期純利益の水準が非常に高くなることから14.5%となりますが、配当総額に自己株式取得額(約100億円)を合わせて計算した総還元性向は33%となります。(2013年度も約32億円の自己株式取得を実施しているため総還元性向は50.2%となっています。)

2015年度につきましては、1株当たり年間6円増配し、従来方針通り、連結配当性向30%程度を目標とした年間36円の配当を予定しております。

1株当たり配当金



主要事業セグメントの営業概況

プリンティング・アンド・ソリューションズ事業

事業紹介

プリンティング技術を追求し、ワークスタイルの革新を提案します。コンパクト性を追求したプリンターのほか、一台にプリンター・ファクス・コピー・スキャナーなどの機能を搭載した複合機、直感的な使いやすさにこだわったラベルライターなど、SOHO(スモールオフィス・ホームオフィス)をはじめとするオフィスでの幅広いニーズにお応えします。

主要製品等

プリンター、複合機、電子文具、スキャナー

売上高

4,742億5千7百万円

●通信・プリンティング機器

主にアジア地域において製品本体の需要が堅調だったことに加え、海外で消耗品の需要が堅調だったことなどにより、前年度比9.8%増の4,217億9千7百万円となりました。

●電子文具

主に海外市場において需要が堅調だったことなどにより、前年度比12.4%増の524億5千9百万円となりました。

営業利益

357億2千2百万円

販売費及び一般管理費の増加によるマイナス影響はあるものの、増収効果および為替のプラス影響などにより、前年度比15.4%増の357億2千2百万円となりました。

製品紹介

インクジェットプリンター アリビオ 「DCP-J4220N」

新開発の「技ありインク」で写真がより鮮やかに。高速・大量印刷に加えてA3印刷可能。スマホ対応で簡単に楽しくスマホ内の写真が印刷できるオリジナルアプリに対応しています。

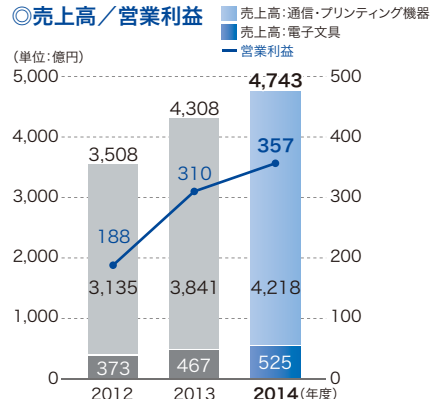


カラーレーザー複合機 ジャスティオ 「MFC-L8650CDW」

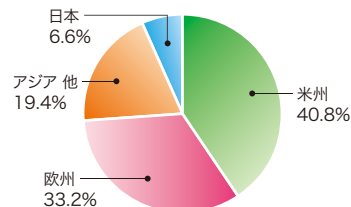
画質を向上し、グラフや画像付きのビジネス文書の表現力を強化。両面印刷に加え、両面同時スキャンにも新たに対応し、業務の効率化に貢献します。



◎売上高／営業利益



◎市場別売上高の構成比(2014年度)



パーソナル・アンド・ホーム事業

事業紹介

家庭用ミシンを中心としたソーイング関連の製品とサービスで、手づくりの楽しさを提案します。従来型のミシンに加え、パソコンを介してインターネットに接続する“ソーイングステーション”など、製品とサービスを通して、手づくりの新しい可能性を広げます。

主要製品等

家庭用ミシン

売上高

514億4千5百万円

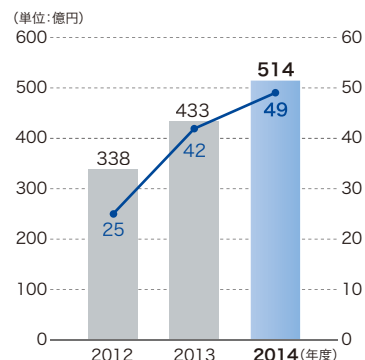
主に米州において、高付加価値モデルの新製品投入効果などにより販売が好調に推移し、前年度比18.9%増の514億4千5百万円となりました。

営業利益

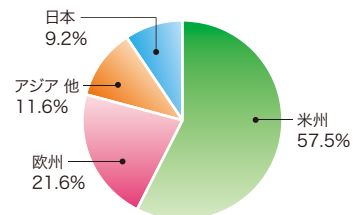
49億2千9百万円

増収に伴い、前年度比16.9%増の49億2千9百万円となりました。

◎売上高／営業利益



◎市場別売上高の構成比(2014年度)



製品紹介

家庭用ミシン

「コンパル1500Q」

かつての電子ミシンの主力ブランド「コンパル」が、中・上級者向け一般用ミシンのブランドとして復活しました。新生コンパル第1機種目の本モデルは、キルトを楽しむための機能が満載です。



カッティングマシン

「ScanNCut(スキャン カット)」 CM110

スキャナーを内蔵した世界初*のカッティングマシンです。好きな模様や手描きのイラストなどを読み取って、独自の切り抜きデータを作成し、布や紙を思い通りの形にカットできます。



* 2013年12月5日時点。ブラザー調べ。家庭用カッティングマシンにおいて。

主要事業セグメントの営業概況

マシナリー・アンド・ソリューション事業

事業紹介

使いやすさ、高品質な縫製、省エネルギーを実現した工業用ミシンや、自動車や二輪車、スマートフォンなどの部品加工業界に最適な工作機械の提案と密着したサポートを通じて、お客様の生産性向上と新たな価値創出をお手伝いしています。

主要製品等

工業用ミシン、産業機器

売上高

1,006億1千7百万円

●工業用ミシン

東南アジアおよび欧米における縫製産業の設備投資需要の拡大や、為替のプラス影響により、前年度比1.9%増の273億2百万円となりました。

●産業機器

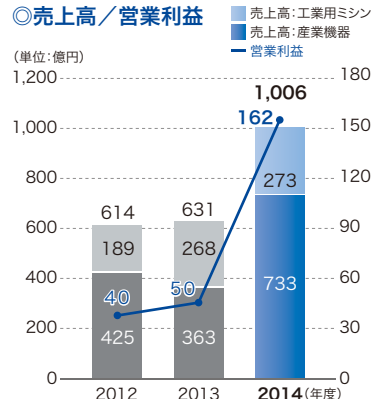
IT関連顧客向けの需要が好調に推移したことに加え、自動車関連顧客への販売強化などの効果により、前年度比101.9%増の733億1千4百万円となりました。

営業利益

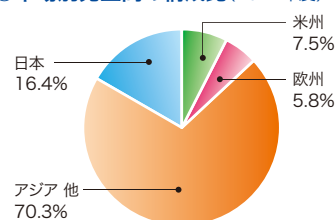
162億1千9百万円

主に産業機器の増収に伴い、前年度比225.0%増の162億1千9百万円の大幅な増益となりました。

◎売上高／営業利益



◎市場別売上高の構成比(2014年度)



製品紹介

電子送り本縫ダイレクトドライブ自動糸切りミシン 「NEXIO(ネクシオ) S-7300A」

工業用1本針本縫いミシンにおいて、世界で初めて*布送り機構を電子化。余分な糸処理作業を低減し、布送り変更時のメカ調整が不要で多様な素材に対応でき、縫製工場の生産性向上に貢献します。

*2015年5月11日現在。
ブラザー調べ。



コンパクトマシニングセンタ 「SPEEDIO S1000X1」

X軸(左右)、Y軸(前後)の移動量と加工エリアの拡張により、従来の主軸30番マシンでは対応できなかった大型部品の加工を可能にしました。自動車業界や一般機械業界など、特に大型部品の量産加工分野において生産性を向上します。



ネットワーク・アンド・コンテンツ事業

事業紹介

業務用通信カラオケシステムの提供を行うとともに、通信カラオケで培ったコンテンツ・配信技術を活用したサービスや製品を提供することで、新たな顧客価値を追求しています。

主要製品等

業務用通信カラオケシステム、コンテンツサービス

売上高

489億5千万円

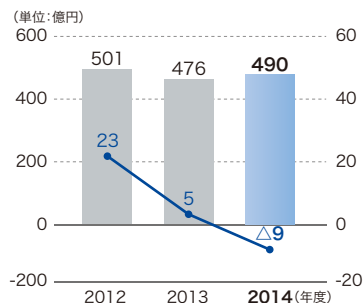
カラオケ店舗の運営事業は堅調なものの、通信カラオケ機器の需要サイクルの影響があり、前年度比2.9%増の489億5千万円にとどまりました。

営業損失

△8億5千6百万円

売上構成の変化に加え、開発費などの費用増加の影響により、8億5千6百万円の営業損失となりました。

◎売上高／営業利益



※ネットワーク・アンド・コンテンツ事業の売上は、日本が売上の大半を占めるため、地域別の記載は省略しております。

工業用部品事業

事業紹介

減速機事業において、豊富な製品バリエーションや特注品対応力を持ち、歯車事業においては、各種小型歯車の生産力や一貫生産能力などを強みとし、国内において高いマーケットシェアを維持しています。

主要製品等

減速機、歯車

売上高

174億4千3百万円

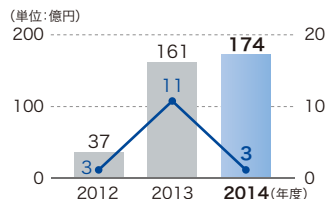
日本国内での需要が堅調だったことに加え、北米での事業強化の取り組みにより、前年度比8.4%増の174億4千3百万円となりました。

営業利益

2億8千6百万円

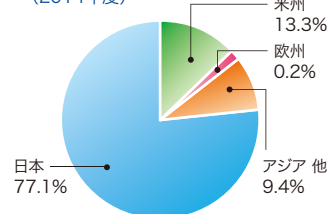
増収効果はあるものの、設備投資の増加による減価償却費の負担増などの影響により、前年度比74.1%減の2億8千6百万円となりました。

◎売上高／営業利益



※2012年度は連結後の第4四半期のみ

◎市場別売上高の構成比 (2014年度)



トピックス 東日本大震災 継続的な復興支援活動

「きずな公園」の整備

ブラザーグループ従業員からの義援金「絆ファンド」を活用して建設された宮城県七ヶ浜町の「きずな公園」は、2013年7月のオープン以来、地域住民の憩いの場となっています。2014年度は、地元からの要望に応え、「絆ファンド」の一部で、公園内のあずまやを補修するとともに、老朽化した遊具を撤去し、新たにうんていを設置しました。補修されたあずまやを見た住民からは、「新品みたいでいいですね。ピクニックに来たくなるね!」といった声をいただきました。また、新しいうんていでは、楽しく遊ぶ子どもたちの姿が見られました。



▲ 補修により新品同様になったあずまや



▲ うんていを楽しむ子どもたち

カラオケ機器の無償貸出を実施

ブラザー工業の子会社で、通信カラオケ事業を展開するエクシングは、2012年3月より公益財団法人国際開発救援財団（以下、FIDR）を通じて、岩手県山田町にカラオケ機器を貸出しています。機器の設置などの運用はFIDRが行い、機器の提供、メンテナンスをエクシングが無償で行っています。2015年3月までの3年間で、延べ1万人以上の皆さんに利用していただくことができました。利用者の方からは「ストレス解消につながっています」「知らない人同士がカラオケを通じて仲良くなりましたよ」といった声をいただき、歌うことが心と体の健康に役立ち、人と人をつないでくれることをあらためて知る機会となりました。



▲ カラオケを楽しむ皆さん

瑞穂工場 「東北復興応援マルシェ」

2012年度より、東北の特産品の購入を通じて復興を支援する「東北復興応援マルシェ」を、ブラザーグループの国内各所で開催しています。2014年12月には、瑞穂工場の食堂を会場とし、従業員計169名が購入しました。同会場での開催は通算4回目となり、恒例行事となった本イベントで、被災地との絆が一層深まりました。



▲ 恒例となった震災復興応援マルシェ

トピックス 東山動植物園に学習施設

「KOALA FOREST コアラの森」を寄贈

2015年3月、ブラザー工業は名古屋市と「東山動植物園再生プラン*に関する連携と協力の協定」を締結しました。その協定に基づいた支援の一環として、コアラの生態や環境保全の大切さを楽しく学ぶことができる屋外型学習施設「KOALA FOREST コアラの森」を東山動植物園に寄贈しました。

コアラの住むユーカリの森をイメージして作られた「KOALA FOREST コアラの森」では、普段は見られないコアラの生態を上映する大型モニター、コアラの体重を実感できる装置や、ユーカリを匂いで当てるクイズなど、大人も子どもも楽しめるように工夫されています。



▲ 来場者でにぎわう学習施設「KOALA FOREST コアラの森」

ブラザー工業は、1984年に名古屋市が日本で初めてコアラを招へいした際にコアラ舎を寄贈して以来、コアラの屋外運動用デッキの寄贈、エサ代の募金活動など、継続的な活動を行ってきました。今後も、東山動植物園再生プランに基づいた支援や、学習施設「KOALA FOREST コアラの森」を通して、地域社会へ貢献し、地球環境の配慮に前向きで継続的な取り組みを推進していきます。

*動植物園の役割や使命の変化を背景に、「人と自然をつなぐ架け橋へ」をテーマに定めた東山動植物園再生の長期計画。東山動植物園の開園100周年にあたる2036年に向けて、「歴史と文化に育まれた人と自然のミュージアム」になることを目指す。



▲ 河村市長より感謝状を受け取る社長の小池

トピックス 環境活動に対する外部評価の高まり

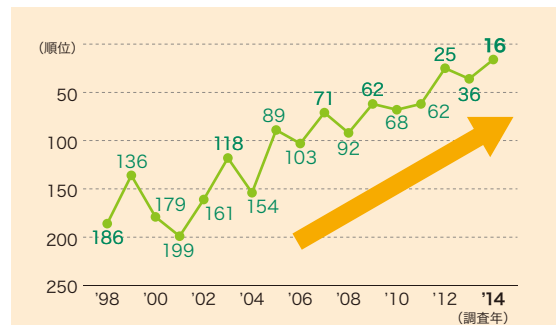
ブラザーグループは、環境スローガン「Brother Earth」のもと、企業活動のあらゆる面で地球環境への配慮に前向きで継続的な取り組みを行っています。持続的発展が可能な社会の構築に貢献できるよう、環境配慮型製品の創出や事業活動における環境負荷の削減、各国法規制への対応、環境保全活動などをさらに加速させています。こうしたグループを挙げて取り組む姿勢が成果として表れ、外部からの評価が高まっています。



「環境経営」への評価

2015年1月に発表された、日本経済新聞社が実施した第18回「環境経営度調査」の製造業総合ランキングにおいて、ブラザーグループはアンケート回答企業419社中、前年の36位から大きく順位を上げ、過去最高の16位を獲得しました。

今年度は、国内のサプライチェーン全体における地球温暖化ガス排出量を算出した点や、海外生産拠点での2020年度のCO₂排出量削減目標を7年前倒しで達成した点などが評価されました。また、環境配慮製品における具体的な数値目標を設定し、活動に取り組んだ点にも評価をいただきました。



▲ ブラザー工業 日経環境経営度調査ランキング推移

「環境Webサイト」への評価

ブラザーグループでは、環境年次報告Webサイト「環境への取り組み」(<http://www.brother.co.jp/eco/index.htm>)と、環境スペシャルサイト「brotherearth.com」(<http://www.brotherearth.com/>)の2つのWebサイトで環境配慮活動を発信しています。これらのWebサイトが、2015年2月、環境省と一般財団法人地球・人間環境フォーラム主催の第18回「環境コミュニケーション大賞」の環境報告書部門で優秀賞を受賞しました。環境に対する取り組みが万遍なく報告されている点や、具体的な活動事例の掲載が評価され、今回の初受賞につながりました。

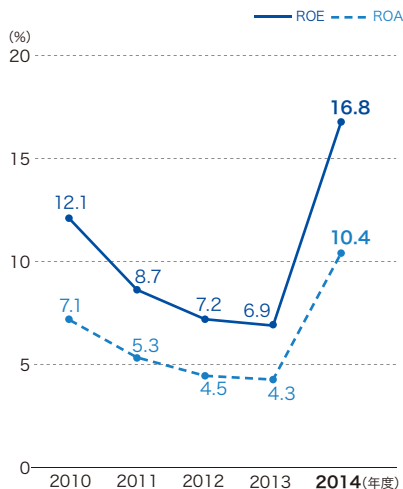


▲ 環境スペシャルサイト

また、2015年3月、日本ブランド戦略研究所主催の環境Webサイト調査「Eco Site Survey 2015」においても、ブラザーの環境Webサイトは、219社中、過去最高の3位にランクインしました。環境報告の基本的な情報が網羅されていることや、専門知識がない方にも興味を持っていただけるように工夫やサポートを行っている点に高い評価をいただきました。

連結経営指標

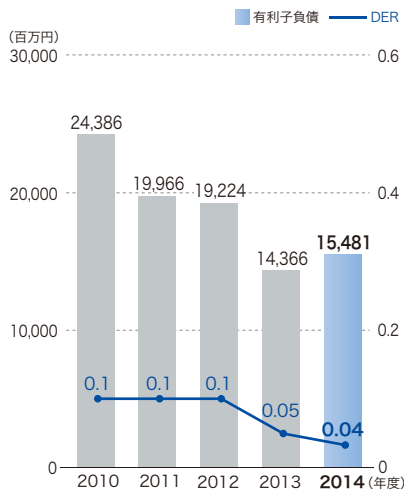
ROE・ROA



※ROE=当期純利益/自己資本 (期首・期末平均)

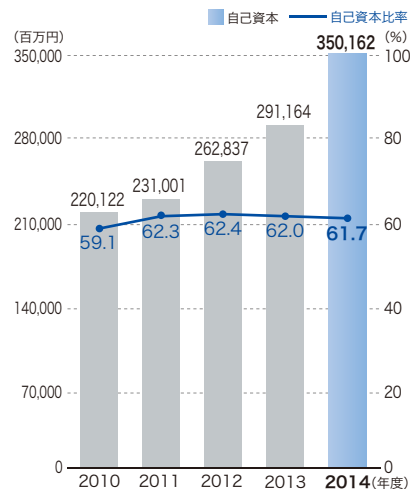
※ROA=当期純利益/総資産 (期首・期末平均)

有利子負債・DER



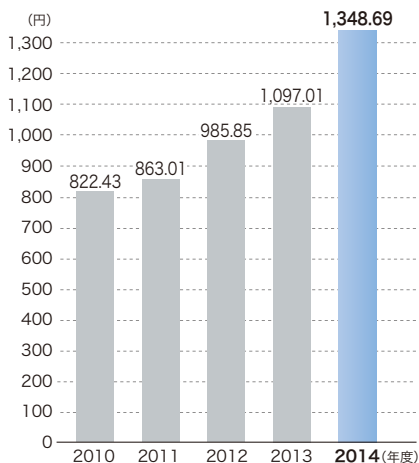
※DER=有利子負債/自己資本

自己資本・自己資本比率

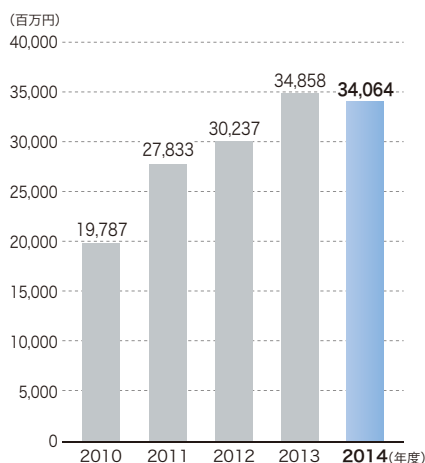


※自己資本比率=自己資本/総資産

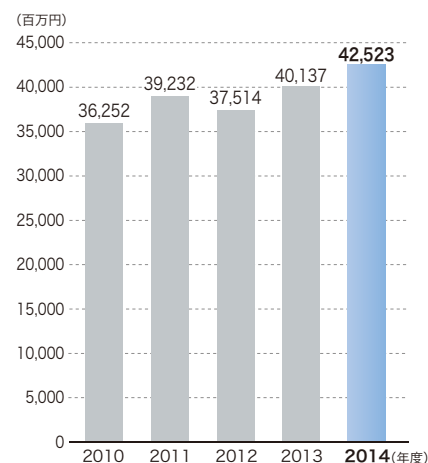
1株当たり自己資本



設備投資額



研究開発費



(単位:百万円)

| 科目 | 2014年度 (2015年3月31日現在) | 2013年度 (2014年3月31日現在) | 増減 |
|--------------------|--------------------------|--------------------------|---------------|
| 《負債の部》 | | | |
| 流動負債 | 153,389 | 116,797 | 36,592 |
| 支払手形及び買掛金 | 44,712 | 42,771 | 1,940 |
| 短期有利子負債 | 10,776 | 1,466 | 9,309 |
| 未払法人税等 | 14,923 | 2,640 | 12,283 |
| その他 | 82,977 | 69,917 | 13,059 |
| 固定負債 | 46,556 | 44,865 | 1,690 |
| 長期有利子負債 | 4,705 | 12,900 | △ 8,194 |
| その他 | 41,850 | 31,965 | 9,885 |
| 負債合計 | 199,945 | 161,662 | 38,283 |
| 《純資産の部》 | | | |
| 株主資本 | 326,573 | 289,974 | 36,598 |
| 資本金 | 19,209 | 19,209 | — |
| 資本剰余金 | 16,695 | 16,682 | 12 |
| 利益剰余金 | 314,892 | 268,156 | 46,736 |
| 自己株式 | △ 24,224 | △ 14,074 | △ 10,150 |
| その他の包括利益累計額 | 23,589 | 1,190 | 22,399 |
| その他有価証券評価差額金 | 7,099 | 4,209 | 2,890 |
| 繰延ヘッジ損益 | △ 447 | △ 1,534 | 1,086 |
| 為替換算調整勘定 | 24,021 | 4,494 | 19,527 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △ 7,084 | △ 5,978 | △ 1,105 |
| 新株予約権 | 615 | 532 | 83 |
| 少数株主持分 | 16,505 | 16,613 | △ 107 |
| 純資産合計 | 367,284 | 308,310 | 58,973 |
| 負債及び純資産合計 | 567,230 | 469,973 | 97,257 |

負債合計

未払法人税等や退職給付に係る負債等の増加により、前期末に比べ383億円の増加となりました。

自己資本比率

利益剰余金や為替換算調整勘定が増加したものの、資産合計がそれを上回る増加となったため、自己資本比率は前期末の62.0%より0.3ポイント減少し61.7%となりました。

連結財務諸表 2

損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

| | 2014年度 (2014年4月 1日から 2015年3月31日まで) | 2013年度 (2013年4月 1日から 2014年3月31日まで) | 増 減 |
|--------------------|--|--|---------------|
| 売上高 | 707,237 | 616,834 | 90,402 |
| 売上原価 | 389,831 | 349,014 | 40,816 |
| 売上総利益 | 317,406 | 267,819 | 49,586 |
| 販売費及び一般管理費 | 259,864 | 224,518 | 35,345 |
| 営業利益 | 57,541 | 43,301 | 14,240 |
| 営業外収益 | 2,922 | 7,780 | △ 4,857 |
| 営業外費用 | 8,905 | 15,467 | △ 6,561 |
| 経常利益 | 51,557 | 35,613 | 15,944 |
| 特別利益 | 16,928 | 794 | 16,134 |
| 特別損失 | 3,087 | 2,880 | 206 |
| 税金等調整前当期純利益 | 65,399 | 33,527 | 31,872 |
| 法人税等 | 11,629 | 13,651 | △ 2,021 |
| 少数株主損益 | △ 200 | 655 | △ 855 |
| 当期純利益 | 53,969 | 19,220 | 34,748 |

売上高

消費増税の反動減があった日本を除く各地域において、通信・プリンティング機器が堅調に推移したことに加え、産業機器が中国のIT関連顧客向けの出荷が好調だったことなどにより、増収となりました。

営業利益

上記要因に加え、円安による為替のプラス影響などもあり、増益となりました。

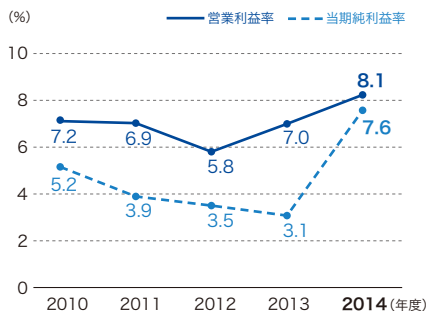
経常利益

営業利益の増加及び為替予約に係る決済差損が減少したことなどにより、増益となりました。

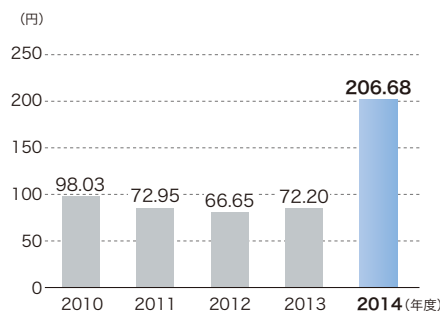
当期純利益

賃貸用不動産の売却に伴う特別利益の計上や、税効果会計の影響で法人税等が減少したことなどにより、増益となりました。

■ 営業利益率・当期純利益率



■ 1株当たり当期純利益



キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

| | 2014年度 (2014年4月 1日から 2015年3月31日まで) | 2013年度 (2013年4月 1日から 2014年3月31日まで) | 増 減 |
|------------------|--|--|---------|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 58,021 | 55,019 | 3,002 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △ 15,326 | △ 39,099 | 23,773 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △ 18,451 | △ 13,433 | △ 5,018 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 8,553 | 6,877 | 1,675 |
| 現金及び現金同等物の増減額 | 32,797 | 9,364 | 23,433 |
| 現金及び現金同等物期首残高 | 68,934 | 55,059 | 13,875 |
| 新規連結・合併による現金増加 | 2,999 | 4,511 | △ 1,511 |
| 現金及び現金同等物期末残高 | 104,732 | 68,934 | 35,797 |

● 営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前当期純利益は654億円となり、減価償却費などの非資金損益の調整のほか、たな卸資産の増加などによる資金増減や法人税等の支払などを差し引いた結果、580億円の収入となりました。

● 投資活動によるキャッシュ・フロー

有形固定資産の取得による支出238億円、無形固定資産の取得による支出72億円、有形固定資産の売却による収入180億円などにより、153億円の支出となりました。

● 財務活動によるキャッシュ・フロー

自己株式の増加102億円、配当金の支払額71億円などにより、185億円の支出となりました。

株主資本等変動計算書(要旨)

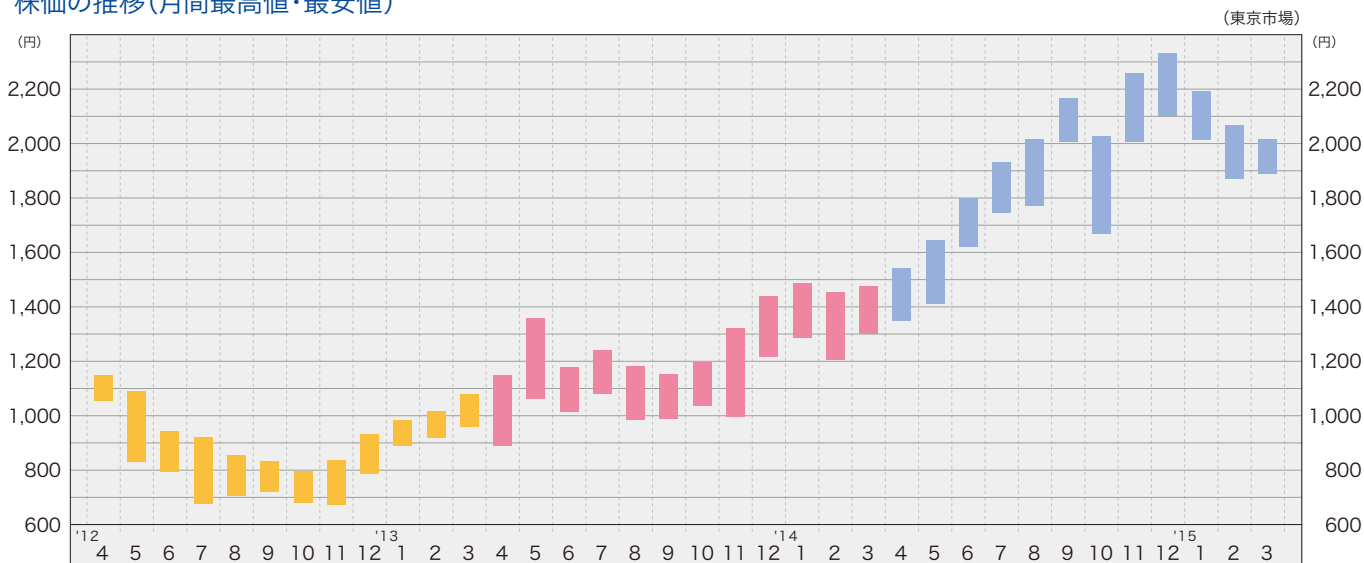
(単位:百万円)

| (2014年4月 1日から 2015年3月31日まで) | 株 主 資 本 | | | | | 評価・換算 差額等 | 新株 予約権 | 少数株主 持分 | 純資産 合計 |
|--------------------------------|---------|--------|---------|----------|----------|--------------|-----------|------------|-----------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自己株式 | 株主資本合計 | | | | |
| 前期末残高 | 19,209 | 16,682 | 268,156 | △ 14,074 | 289,974 | 1,190 | 532 | 16,613 | 308,310 |
| 会計方針の変更による 累積的影響額 | — | — | △ 142 | — | △ 142 | — | — | △ 41 | △ 183 |
| 会計方針の変更を 反映した当期首残高 | 19,209 | 16,682 | 268,014 | △ 14,074 | 289,832 | 1,190 | 532 | 16,571 | 308,126 |
| 当連結会計期間中の変動額 | — | 12 | 46,878 | △ 10,150 | 36,741 | 22,399 | 83 | △ 65 | 59,157 |
| 剰余金の配当 | — | — | △ 7,089 | — | △ 7,089 | — | — | — | △ 7,089 |
| 当期純利益 | — | — | 53,969 | — | 53,969 | — | — | — | 53,969 |
| 自己株式の取得/処分 | — | 12 | — | △ 10,150 | △ 10,137 | — | — | — | △ 10,137 |
| その他 | — | — | △ 1 | — | △ 1 | 22,399 | 83 | △ 65 | 22,415 |
| 当期末残高 | 19,209 | 16,695 | 314,892 | △ 24,224 | 326,573 | 23,589 | 615 | 16,505 | 367,284 |

*会計方針の変更による累積的影響額は、退職給付会計基準の改正によるものです。

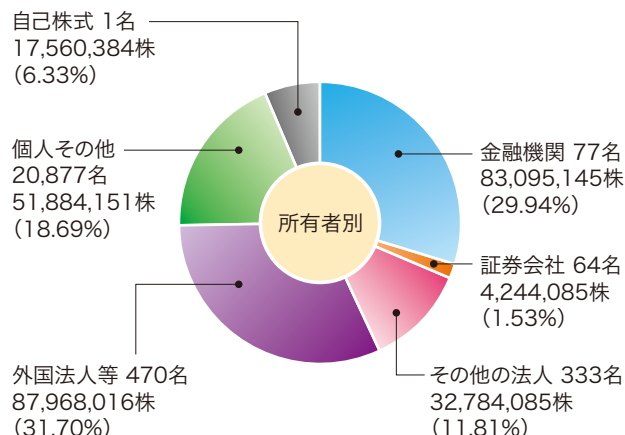
株式の状況

株価の推移(月間最高値・最安値)



株式の分布状況 (2015年3月31日現在)

- 発行可能株式総数……………600,000,000株
- 発行済株式総数……………277,535,866株
- 株主総数……………21,822名



大株主 (上位10名)

(2015年3月31日現在)

| 株主名 | 持株数(千株) | 持株比率(%) |
|-------------------------------------|---------|---------|
| ステートストリートバンクアンド トラストカンパニー※ | 15,698 | 5.66 |
| 日本生命保険相互会社 | 11,798 | 4.25 |
| 日本マスタートラスト信託銀行 株式会社(信託口)※ | 11,069 | 3.99 |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行 株式会社(信託口)※ | 10,475 | 3.77 |
| 株式会社三井住友銀行 | 7,398 | 2.67 |
| 住友生命保険相互会社 | 4,499 | 1.62 |
| ブラザーグループ従業員持株会 | 4,349 | 1.57 |
| ステートストリートバンクアンド トラストカンパニー505225※ | 4,172 | 1.50 |
| 朝日実業株式会社 | 4,160 | 1.50 |
| 株式会社三菱東京UFJ銀行 | 3,796 | 1.37 |

- 注1：持株数は千株未満を切り捨てて表示しています。
 注2：持株比率は小数点第3位を四捨五入して表示しています。
 注3：※印のある株主の所有株式は、全て当該各社の信託業務にかかる株式です。
 注4：上記のほか、自己株式が17,559千株(持株比率6.33%)あります。

会社の概要

基本データ (2015年3月31日現在)

| | |
|---------|---|
| 商号 | ブラザー工業株式会社 (BROTHER INDUSTRIES, LTD.) |
| 本社 | 名古屋市瑞穂区苗代町15番1号 〒467-8561 TEL：052-824-2511 (代表) |
| 設立 | 1934年1月15日 |
| 資本金 | 192億9百万円 |
| 上場証券取引所 | 東証1部、名証1部 |
| 従業員※ | 連結：34,988名 単独：3,946名 ※正社員のみ |
| グループ会社 | 連結子会社74社、持分法適用会社5社 (日本19社、米州9社、欧州19社、アジアその他32社) |

役員 (2015年4月1日現在)

【取締役】

| | | |
|-------|------------------|---|
| 小池 利和 | ※代表取締役社長 | 内部監査部、新規事業推進部、 新規技術開発部 直轄 |
| 石川 茂樹 | ※代表取締役 専務執行役員 | プリンティング事業統括 兼 開発管理部、 知的財産部 担当 |
| 長谷川友之 | 代表取締役 | 株式会社ニッセイ 代表取締役社長 |
| 神谷 純 | ※取締役 常務執行役員 | ネットワーク・アンド・コンテンツ事業統括 兼 ネットワークシステム開発部、N&C事業推進部 担当 兼 株式会社エクシング 代表取締役会長 |
| 佐々木一郎 | ※取締役 常務執行役員 | サービス・アンド・ソリューションズ事業統括 兼 IT戦略推進部、ソフトウェア第1開発部、 ソフトウェア第2開発部、アプリケーション開発部 担当 |
| 石黒 雅 | ※取締役 常務執行役員 | 工業用部品事業統括 兼 経営企画部 担当 |
| 平野 幸久 | * 取締役 | |
| 西條 温 | * 取締役 | |
| 服部 重彦 | * 取締役 | |
| 深谷 紘一 | * 取締役 | |
| 松野 聰一 | * 取締役 | |

【監査役】

| | |
|-------|----------|
| 成田 正人 | 監査役 (常勤) |
| 高次 正樹 | 監査役 (常勤) |
| 松尾 邦弘 | * 監査役 |
| 海野 隆雄 | * 監査役 |
| 丸山 弘昭 | * 監査役 |

注1：※印の取締役 小池 利和、石川 茂樹、神谷 純、佐々木 一郎、石黒 雅は執行役員を兼務しています。

注2：*印の取締役 平野 幸久、西條 温、服部 重彦、深谷 紘一、松野 聰一は社外取締役です。

注3：*印の監査役 松尾 邦弘、海野 隆雄、丸山 弘昭は社外監査役です。

【常務執行役員】

| | |
|-------|--|
| 浅井 侯序 | グローバルCSR 推進部、コーポレートコミュニケーション部、 法務・総務部 担当 兼 グローバルCSR 推進部長 |
| 石川 博 | QM推進部、CS推進部 担当 兼 兄弟高科技 (深圳) 有限公司、 兄弟工業 (深圳) 有限公司、珠海兄弟工業有限公司 董事長 |
| 松本勇美夫 | E&I事業統括 兼 開発企画部、メカシステム第1開発部、 メカシステム第2開発部、ES開発部 担当 |
| 亀之内孝文 | プリンティング事業推進部、E&I事業推進部 担当 兼 ブラザーインターナショナル株式会社 代表取締役社長 |
| 川那辺 祐 | マシナリー・アンド・ソリューション カンパニー プレジデント |

【執行役員】

| | |
|-------|---|
| 藤井 宗高 | 財務部 担当 |
| 鈴木 雅彦 | IE開発部、IE技術部、総合デザイン部 担当 |
| 三輪 祐司 | 製造企画部、製造部、購買部、環境推進部 担当 |
| 服部 親将 | 生産技術部、部品技術部、電子技術部、試作技術部 担当 |
| 若原 宏之 | 人事部 担当 兼 人事部長 |
| 久野 光康 | パーソナル・アンド・ホーム カンパニー プレジデント |
| 星 真 | マシナリー・アンド・ソリューション カンパニー 産業機器事業 担当 兼 エグゼクティブ バイスプレジデント |
| 野地 勲 | 第1営業企画部、第2営業企画部、マーケティング推進部、 サービス&ソリューションズ事業推進部 担当 兼 第2営業企画部長 |
| 桑原 悟 | 電子システム開発部、LE開発部 担当 兼 LE開発部長 |

【グループ常務執行役員】

| | |
|-------|--------------------|
| 片山 俊介 | ブラザー販売株式会社 代表取締役社長 |
|-------|--------------------|

【グループ執行役員】

| | |
|-------|--|
| 只 雄一 | ブラザーホールディング (ヨーロッパ) 取締役社長、 ブラザーインターナショナル (ヨーロッパ) 取締役会長兼社長 |
| 武田 進 | ブラザーインダストリーズ (ベトナム) 取締役会長兼社長 |
| 池田 和史 | ブラザーインターナショナルコーポレーション (U.S.A.) 取締役社長 |

株主メモ

事業年度……………4月1日～翌年 3月31日
定時株主総会……………毎年 6月
期末配当金受領株主確定日……………3月31日
第2四半期末配当金受領株主確定日……………9月30日
基準日……………3月31日
公告掲載URL… <http://www.brother.co.jp/investor/>

※ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告によることができないときは、日本経済新聞に公告します。

■ 株主名簿管理人／特別口座の口座管理機関
三菱UFJ信託銀行株式会社

■ 同連絡先

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
東京都江東区東砂7丁目10番11号 〒137-8081
TEL:0120-232-711 (通話料無料)

※株主さまの住所変更その他各種お手続きにつきましては、株主さまご自身が口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)にて承りますので、詳細は各口座管理機関へお問い合わせください。

※特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行株式会社までお問い合わせください。

アンケートご協力をお願い

本年度も引き続き株主アンケートを実施いたします。期日までに同封のアンケートはがきにご記入の上、返信いただいた方の中から抽選で50名様に家庭用ラベルライター「P-touch(ピータッチ) PT-J100W」を進呈いたします。 ※当選者の発表は商品の発送をもってかえさせていただきます。



ブラザー工業株式会社

本社 名古屋市瑞穂区苗代町15番1号 〒467-8561

展示館・ショールームのご案内

展示館 ブラザーコミュニケーションスペース



ブラザーグループの展示館として、モノ創りの歴史と製品のご紹介をしています。どなたでも、お気軽に予約なしでご来館いただけます。ぜひ、お越しください。

<http://www.brother.co.jp/bcs/>

名古屋市瑞穂区塩入町5番15号 〒467-0851
TEL : 052-824-2227

ブラザー東京ショールーム



ホームからオフィスまで、さまざまなブラザー製品を体験できるスペースです。ブラザー製品をすでにお使いのお客様のご相談の場として、これからブラザー製品をお買い求めになるお客様のご検討の場として、ブラザー製品を心ゆくまで体験いただけます。

<http://www.brother.co.jp/tokyo-showroom/index.htm>

東京都中央区京橋3丁目3番8号 〒104-0031
TEL : 03-3281-1125